

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	66	事業名	放課後子ども教室事業	担当部課	子ども部子ども未来課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市放課後子ども教室推進事業実施要綱	9-4-1 社会教育総務費	
	事業開始の背景、経緯等	地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得て、放課後等に全ての子どもを対象とした学習支援や多様なプログラムを実施する。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 各教室ともに定員最大60人で、給食開始日から3月末までの期間で、授業終了後から午後4時50分の間で開室。体験プログラムとして、ボランティアの講師を招いて、将棋体験、茶道体験、絵手紙体験、指導員による遊び体験などの事業を実施する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 放課後子ども教室登録者(西、南、東、北小学校)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 小学校施設を活用し、地域住民の協力を得て、放課後の子どもたちに様々な学習・体験・交流活動を提供する。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	11,873	12,941	13,699	17,266	19,150
		決算	10,864	12,225	11,942	15,492	
人件費(B)	千円	決算	3,284	4,719	5,057	4,560	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	14,148	16,944	16,999	20,052	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		156	200	226	303	300
対象あたりコスト(C/D)	千円		91	85	75	66	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
放課後子ども教室の加入希望者の受入れ割合	%	目標	100	100	100	100	100
		実績	63	75	63	56	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
全ての利用希望児童が放課後子ども教室に参加することにより、放課後等を安全・安心に過ごすことができ、かつ多様な体験・活動を行うことができるようになるため。 (前年までと変更した場合はその理由)			(放課後子ども教室においての) 参加児童数/申込者数				

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 放課後子ども教室の申込者数増加のため、登録待ちの児童が発生している。このため、毎日の利用状況により、定員を超えての受入れを行っている。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和元年度より北小学校で放課後子ども教室を開始し、市内で4校目となった。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 児童の預け先として放課後子ども教室へ参加している児童が一定数いるため、事業本来の体験活動や交流活動等を目的とした児童を受け入れられる体制にした。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	放課後子ども教室運営事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	600	600	600	600	600	
			実績	760					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 令和元年度の4校での開室日数は延べ807日、参加者数は延べ21,776人となった。なお、新型コロナウイルス感染防止策としての学校の臨時休業に伴い、3月は事業中止となった。							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	事務事業②								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 現在、預かり目的を理由に登録している一定割合の利用者について、児童クラブや学童保育への統合化を図りたい。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 事業の運営について、国の補助要件の見直しがあることから、令和6年度までの第2期子ども・子育て支援事業計画の期間中に、学校と地域との連携・協働体制による運営なども視野に入れながら、教育委員会と調整、連携したい。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・行政改革の重要課題事業を踏まえ、児童クラブ及び放課後子ども教室の一体型の促進に寄与するよう取り組んでください。 ・拡充の方向性が継続し、決算額も比例して増大していますが、事業費を抑えることを念頭に、「今後」に書かれた方向性・目標を着実に進めてください。
内部意見への回答		